

平成28年度 学校評価報告書

1 学校教育目標

「温かさの実感、優しさの実感、そして夢と志を！」

2 今年度の学校重点目標

生命や人権を尊重し、正しい判断・行動ができる生徒の育成
 基本的な生活習慣ができ、人と人との絆を大切にする生徒の育成

3 総合的な自己評価

学校の教育活動における重点的な項目について、保護者アンケートをもとに学校自己評価を行った。結果、概ね適切に教育活動が行われていると考えられる。今後もきめ細かな指導を継続し、教職員一丸となって、保護者や地域に信頼される学校づくりに取り組んでいきたい。

4 総合的な学校関係者評価

全般的に適切な教育活動が行われている。情報モラル教育や勤務時間の適正化などの課題解決に今後も積極的に取り組むとともに、職員と生徒・保護者との信頼関係を深め、地域にとって魅力ある学校づくりを進めて欲しい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校行事	学校・学年行事(1年転地学習・2年トライやる・ウィーク・3年修学旅行・体育大会・文化祭・オープンスクール等)は、適切な内容で実施されているか。	生徒が意欲的に活躍する姿を通して保護者から高い評価が得られた。	授業時数確保のために、行事の精選を図りながら、生徒にとって価値のある有意義な行事内容となるように検討していきたい。	学校行事に生徒が意欲的に取り組んでいる。今後も生徒の自主性、積極性のさらなる伸長を図るとともに、ボランティア活動にも力を入れて欲しい。
生徒指導	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいるか。	いじめアンケートの実施や教育相談の時間を定期的に設ける等の取り組みを通して、いじめの予防、早期発見・対応に努めている。	本校のいじめ防止基本方針に基づき、職員による指導だけでなく、生徒会を中心としたいじめ撲滅運動を、継続して推進していく。	いじめ等の指導ではスマートフォンなどの情報機器の使用について関係機関や家庭の協力を得ながら生徒に十分に啓発することが重要である。また、小中が連携して指導にあたる体制の構築も必要である。
学校重点目標	生命や人権を尊重し、正しい判断・行動ができる生徒の育成や基本的な生活習慣ができ、人と人との絆を大切にする生徒の育成に取り組んでいるか。	基本的な生活習慣は定着している。人権尊重や主体的に行動する生徒の育成に関しても肯定的な評価が多いが、一層の改善に努めたい。	自ら考え主体的に行動する生徒の育成のためにアクティブラーニング等の指導方法を活用するなどし、学校生活のあらゆる機会を通して積極的な育成を図る。	挨拶については、個々の生徒や活動場面によりばらつきが見受けられる。生徒会による挨拶運動などを通して、生徒自身が主体的に取り組む機会を多く設定していくことが望まれる。
学習指導	指導の工夫改善を図り、わかりやすい授業に取り組んでいるか。	生徒の学習意欲も高く、授業にも真剣に取り組んでいる。研究推進のテーマに「ねらいとめあてを明確にした授業づくり」をすえ、授業力、指導力の向上を図った。	「ねらいとめあての明確化」は授業づくりのうえで重要な課題であることを教職員が共通理解した。今後もこの取り組みを継続していくことが重要である。	学習指導に関心の高い地域である。保護者の要望に応えながら、学力の定着・向上を図って欲しい。発達障害など学習に課題のある生徒に対する丁寧な対応を一層進めて欲しい。

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
2月	保護者へのアンケート調査
3月	学校自己評価実施

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月13日	学校評価についての取り組み、説明
9月17日	体育大会視察
11月3日	文化祭視察
3月1日	学校関係者評価委員会の実施

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
3月中旬	学校ホームページ	学校評価(自己評価及び学校関係者評価)の結果を記載	○